

授業科目 生活構造論Ⅱ

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

患者・障害者を「生活者」としてとらえ、その生活の全体構造を、①家族・親族、②地域社会との関係を重視しつつ分析する。

<学習目標>

1. 患者・障害者の生活構造と、家族構造、地域社会構造との関連を理解する。
2. 患者・障害者の生活問題と、家族問題・地域社会問題との関連を理解する。
3. 患者・障害者の生活問題と、保健・医療・福祉問題との関連を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SB0	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	患者・障害者を生活者としてとらえる意義を理解する。		講義受講（受講者が少なければ 討論も行う）、 読書、事例調査など自主学習 （慢性・難治性疾患患者および その家族の生活記録等）
2	疾病・障害と生活との関係を理解する		
3	疾病・障害の重度化と生活問題・生活課題の変化との関連を理解する。		
4	主要な慢性・難治性疾患患者および心身障害者とその家族について、事例研究を行う		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	まとめ		
15	〃		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	使用しない			
参考書	随時紹介する			
その他の資料	毎時間印刷教材を配布する			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	【履修上の留意点】 患者・障害者およびその家族の生活記録を読み、自主的に事例研究してほしい。
-------------------------------------	---